学校番号	219

令和5年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツ概論	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新版　図解スポーツトレーニングの基礎理論　（西東社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

体育科で３年間学んだ集大成としての卒業論文の完成を目ざしてほしい。
より良い研究・発表ができるように、貪欲に学び、多くの資料・先行研究を読み、厚みのある実験・調査・考察をしてほしい。
日々自分たちが触れるスポーツや身体に関する情報に関心・疑問を持つ姿勢を持ち探究心を持ってほしい。

２　学習の到達目標

論文の書き方、構成、マナー等を十分理解し、班で協力し、計画的に卒業論文を完成させる。
実験・調査の手法を理解し、研究の主旨に沿った条件設定をした実験・調査が実施できる。
自分たちの研究をわかりやすく、興味関心を持ってもらえるようにプレゼンテーションできる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・運動・スポーツの様々な側面に関心を持ち、生涯にわたってスポーツに関わっていこうと進んで学習に取り組もうとする。 ・運動・スポーツを行うときの身体構造や働きなど、自身の身体や競技の特性に興味を持ち、問題提起する。 ・班の中で自らの役割を確定し、協力して論文作成に取り組んでいる。	・運動を実践するための運動技術の構造を整理したり、自分に適した運動及び学習方法を見つけている。 ・実験・調査に際して生じるバイアスに適切に対応できる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。 ・研究の主旨に沿った条件設定をした実験・調査が実施できる。	・設定した条件に則して、安全に実験・調査を実施する技能を身につける。 ・自分たちの研究の主旨をわかりやすく、興味関心を持ってもらえるようにプレゼンテーションできる。	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、指導方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 ・論文の書き方、構成、マナー等を十分理解している。 ・データの処理について理解している。
評価方法	受講態度の観察・レポート等	レポート・テスト等	技能観察・レポート・発表等	レポート・テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	スポーツの指導法	・論文とは ・研究の方法 ・統計 ・被験者の安全の確保 ・論文検索 ・テーマ決め ・予備実験・調査	○	○		○	a:自身の身体や競技の特性に興味、関心をもち、積極的に問題提起ができる。 b:研究の主旨に沿ったデータ収集のために適した実験・調査を考えることができる。 d:正しく理解し、説明できる。	受講態度の観察 レポート テスト
2学期	卒業研究	・予備実験・調査 ・本実験・調査 ・論文作成	○	○	○	○	a:自分の役割を理解し、積極的に実験、調査に取り組み、協力して論文を作成できる。 b:研究の趣旨に沿った実験・調査をバイアスを適切に取り除き、適切な条件設定で考えられる。 C:適切な条件設定の下安全に実験・調査を実施している。 d:ノートにまとめて記述し説明できる。	受講態度の観察 技能観察 レポート
3学期	卒業研究発表	・論文作成 ・研究発表	○		○	○	a:班の研究を理解したうえで、発表の方法や主題を積極的に発信し、協力して発表の準備及び発表できる。 C:必要な情報を比較・分析し、結果を考察し、論述的に発表できる。 d:自分たちの研究の問題点、改善点を的確に把握している。また他班についても同様に指摘できる。	受講態度の観察 技能観察 研究発表 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。